

会 議 記 録

会議名称	令和5年度第2回杉並区健康づくり推進協議会
日時	令和5年12月18日(月)午後2時00分～午後3時12分
場所	杉並区役所 4階運動室
出席者	委員名 野崎会長、稲葉委員、真砂委員、中村委員、堤委員、松尾委員、大崎委員、武田委員、石井委員、勝俣委員、小美野委員、氏橋委員、前山委員、鈴木委員、芝山委員、小川委員
	事務局 杉並保健所長、健康推進課長、健診担当課長、歯科衛生担当課長、生活衛生課長、保健予防課長、保健サービス課長、健康推進課健康推進係長
傍聴者数	2名
配付資料	資料1 杉並区健康づくり推進条例の規定に基づく目標及び指標の変更(案) 資料2 【別紙】杉並区生活習慣行動調査について 資料3 杉並区健康づくり推進条例の規定に基づく目標及び指標(令和5年度更新値) 資料4 令和5年度杉並区健康づくり表彰の結果について 参考資料 令和5年度杉並区健康づくり推進協議会委員名簿
会議次第	1 開会 2 保健所長あいさつ 3 協議事項 (1) 杉並区健康づくり推進条例の規定に基づく目標及び指標の変更(案) 4 報告事項 (1) 杉並区生活習慣行動調査について (2) 杉並区健康づくり推進条例の規定に基づく目標及び指標(令和5年度更新値) (3) 令和5年度杉並区健康づくり表彰の結果について 5 その他 6 閉会
健康推進課長	こんにちは。定刻となりましたので、令和5年度第2回杉並区健康づくり推進協議会を開催したいと思います。本日は師走のお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。私は健康推進課長を務めています海津と申します。 本日の出席状況と資料の確認等を行いたいと思いますので、事務局の中村係長、よろしく願いいたします。
健康推進係長	健康推進課健康推進係長の中村でございます。 本日は、20名中13名の委員にご出席いただいております。定足数である過半数を満たしておりますことをご報告いたします。 なお、本日の会議記録を作成する都合上、音声を録音させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

	<p>それでは、お手元の資料の確認に入らせていただきます。</p> <p>本日の資料につきましては、事前にお送りさせていただきました本日の次第と資料1から資料4、及び参考資料1でございます。なお、お手元に配付しました資料3について、事前を送付しました資料の一部に誤記がございました。おわびの上、差し替えをお願いいたします。</p> <p>また、ダブルクリップでまとめてある「杉並区障害者施策推進計画(案)」、「杉並区高齢者施策推進計画(案)」に関する区民等の意見提出手続について各1部、一式を席上に配付させていただいております。</p> <p>また、資料1から資料4につきましては、本日お持ちいただきますようご案内をさせていただきましたが、もしお持ちでない場合は事務局までお知らせください。以上が本日の資料でございます。</p> <p>それでは、初めに本日の次第でございます。</p> <p>続いて、資料1「杉並区健康づくり推進条例の規定に基づく目標及び指標の変更(案)」について。こちらは後ほど目標値の変更を1件諮らせていただきます。</p> <p>続いて、資料2「杉並区生活習慣行動調査について」。</p> <p>続いて、資料3、本日差し替えをお願いしました「杉並区健康づくり推進条例の規定に基づく目標及び指標(令和5年度更新値)」でございます。資料3においては、目標値に対する令和5年度、現在の現状値をご報告させていただきます。</p> <p>続いて、資料4「令和5年度健康づくり表彰報告書」。</p> <p>続いて、参考資料「令和5年度杉並区健康づくり推進協議会委員名簿」でございます。</p> <p>以上の資料1から4、及び参考資料が本日の資料となります。</p> <p>続きまして、本日の資料ではありませんが、「杉並区障害者施策推進計画(案)」及び概要版、「杉並区高齢者施策推進計画(案)」及び概要版と、それぞれの意見提出用紙各1部をお手元に配付させていただきました。区ではこの2つの計画案をまとめ、12月1日より来年1月4日まで区民の意見提出手続、いわゆるパブリックコメントですが、こちらを実施しております。つきましては、協議会委員の皆様におきましてもご高覧いただき、ご意見を賜りたく、お手元に配付させていただきました。</p> <p>なお、お手元の2つの計画案は今年7月に策定しました「杉並区地域福祉推進計画」、「杉並区健康医療計画」、「杉並区子ども家庭計画」の3つの計画と合わせ合計5つの計画で杉並区保健福祉計画を構成することになります。ご意見の提出先はお手元の資料に記載してありますので、それぞれの提出先になります。</p> <p>以上、資料の不足はございませんでしょうか。</p> <p>私からのご案内は以上です。ありがとうございました。</p>
健康推進課長	<p>それでは、次第に沿って進めさせていただきたいと思っております。なお、閉会については15時30分頃を予定させていただいております。ご協力のほど、よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、次第の2といたしまして、杉並保健所長から開会の挨拶をさせていただきます。保健所長、お願いいたします。</p>
杉並保健所長	<p>杉並保健所長の播磨と申します。本日は大変お忙しいところ、そして寒波が来て大変お寒いところ、杉並区健康づくり推進協議会、今年度第2回目となりますけれども、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>また、平素より杉並区の保健衛生行政に多大なるご理解・ご協力をい</p>

	<p>ただきまして、誠にありがとうございます。この場をお借りして、心より御礼を申し上げます。</p> <p>さて、杉並区における核となる基本構想というものがあるんですけども、そこでは健康医療分野における将来像、皆様ご承知のところだと思いますけれども、「人生100年時代を自分らしく健やかに生きることができるまち」というふうに行っているところでございます。今後も少子高齢化社会がますます進んでいくことが予想される中で、健康づくりというものの重要性がますます増してきているといったところだと思います。</p> <p>今回の協議会におきましては、「杉並区健康づくり推進条例」の規定に基づく目標や指標の変更につきまして委員の皆様方にお諮りした後、先ほど資料紹介でもあったんですけども、3年ごとに実施しております杉並区的生活習慣行動調査の報告などをさせていただきたいと思っております。</p> <p>限られた時間ではございますけれども、杉並区民の方々が健康づくりにますます取り組んで、基本構想が目指している「健やかに生きることができるまちづくり」を推進していくために活発な意見交換をお願いして、大変簡単ではございますけれども、私からのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
健康推進課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第の3、協議事項になりますが、ここからは野崎会長のほうにバトンタッチいたしまして、司会をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
野崎会長	<p>野崎でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>早速ですけども、次第の3、協議事項に入ります。お手元の議題(1)「杉並区健康づくり推進条例の規定に基づく目標及び指標の変更(案)」について、資料の1ですけども、ご説明をお願いいたします。</p>
健康推進課長	<p>それでは、健康推進課長の海津からご説明させていただきます。資料1を御覧ください。</p> <p>前回の推進協議会において「杉並区健康医療計画」を策定したことをご報告させていただいたところですが、令和12年度の数値目標について、杉並区総合計画及び実行計画の改定案に基づき、ゲートキーパー養成者数、これは累計値になりますが、その目標値を改定させていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の開催通知とともに、11月に皆様方にも「杉並区総合計画・実行計画」の区民意見等の募集について、要はパブリックコメントになりますが、ご連絡を差し上げていたかと存じます。</p> <p>資料1の計画体系図についてご説明していきますと、杉並区が目指すまちの姿として「みどり豊かな住まいのみやこ」を杉並区基本構想に掲げて、この基本構想の実現に向けて長期的な計画に立った計画が杉並区総合計画となっております。この財政上の裏付けを有する計画として「杉並区実行計画」を定めて、そのもとに、保健福祉計画の1つに「健康医療計画」が位置付けられてございます。</p> <p>数値目標の変更は「杉並区総合計画・実行計画」との整合性を図り、将来の数値目標を変更することといたします。具体的には、「健康医療計画」分野2の心の健康にあります<目標 自殺者を減らす>というところの令和12年度の目標値3,350人を100人増やして3,450人と、上方修正をすることとしております。</p>

	<p>区では毎年新たに150人のゲートキーパーを養成するため、講座を実施しております。「実行計画」では、令和4年度の目標としていた2,150人が、実績値において2,263人となっております。既に100人以上多く目標を達成していることから、令和12年度の目標値を変更したところでございます。</p> <p>私からの資料の説明のほうは以上になります。</p>
野崎会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまの事務局からの説明につきまして、委員の皆様方からご質問、ご意見がございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>随分増えるんですね。</p> <p>特にございませんか。</p> <p>それでは、今回の目標値の変更につきましては、事務局から説明がありましたとおり、区の上位計画である「杉並区総合計画・実行計画」の改定に伴いまして、令和12年度の目標値を、これまでの実績値を考慮し上方修正行うこととなりますので、目標値の変更について了承するという理解でよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次は報告事項に入ります。(1)「杉並区生活習慣行動調査について」に関して、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
健康推進課長	<p>こちら私の方からご説明、ご報告を申し上げます。資料2を御覧ください。この杉並区生活習慣行動調査は3年ごとに実施しているもので、平成23年度から調査項目を共通して実施しているものでございます。</p> <p>1「調査目的」は記載されているとおりですが、区民の生活習慣や行動の状況を詳細に把握し、「人生100年時代」を自分らしく健やかに生きることができるまちの実現に向けた取組を推進するための基礎資料を得ることを目的としてございます。</p> <p>2「調査の方法」は、区内全域を対象としてございまして、令和5年7月3日現在満20歳以上の3,000人の区民を対象といたしました。回収率は43.2%。前は令和2年度なんですが、このとき51.6%という状況でございましたので、8.4ポイントほど下がってしまっております。実は今回から郵送回収のほか、インターネットでの回答も実施してございました。大体4分の1ぐらいがインターネットで回答という状況となっていましたが、少し回収率は低かったという状況になってございます。</p> <p>3点目「調査の内容」ですが、(1)健康状態から(12)健康づくりを進めるうえで期待することまで、12項目となっております。次ページ以降にA3版の速報版として、調査結果の単純集計を資料にまとめさせていただきます。現在、各調査結果に基づいてクロス集計ですとか、過去の調査との比較など、鋭意分析を進めてございます。まとめ次第、大体200ページぐらい、前回冊子にしたときがこういう分厚い報告書になってございますが、こちらのほうは今資料として作成中としておりますが、今回この場で分析結果を含めてご報告できればというふうに考えていたんですが、ちょっと間に合わず、後日、皆様方のほうには別途送付させていただきたいと思っております。</p> <p>次の報告事項で、「杉並区健康づくり推進条例」の規定に基づく目標及</p>

	<p>び指標の更新値の一部においても、この調査結果に基づいて用いている指標がございます。参考に皆様方にも取りあえずは概要版というんですか、速報版としお付けさせていただいておりますので、後日見ていただければというふうに考えてございます。</p> <p>また、私どものほうでは、今後もこの調査結果については各健康づくりの取組などの施策に生かしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>私からの説明は以上となります。</p>
野崎会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの事務局からの説明につきまして、皆様方からご質問、ご意見等を頂きたいと思っておりますが、いかがでしょうか。順次お願いをいたします。</p> <p>このインターネット回答というのは、どういうふうにやるんですか。</p>
健康推進課長	<p>インターネット回答は、二次元コードをかざしていただくとそこに同じ設問が出てきまして、一つ一つ答えていっていただくという形をとらせていただいております。項目といたしましては約50問ほどございますので、一個一個について回答いただくという形をとらせていただきました。</p> <p>一応、回答期限のほうは、今回資料にもお示ししたとおり1か月半ぐらい用意させていただいて、回答いただくという形をとらせていただいております。</p>
野崎会長	<p>郵送との比率はどのぐらいなんですか。</p>
健康推進課長	<p>大体回答していただいた4分の1ぐらいがインターネット回答ということで、ここに有効回収数が1,296と記載させていただいておりますが、インターネット回答だと356人ほどございました。回答率の中の割合とすると、27%ぐらいという状況になってございます。</p>
野崎会長	<p>女性のほうが多いんですね。</p>
健康推進課長	<p>杉並区の人口は女性のほうが多いために、今回配布しているものについても、人口統計上の割合に基づいて調査の対象者に対して配布しているという形をとらせていただいておりますので、そもそも配布枚数、対象枚数も女性のほうが多かった、回答についても女性のほうが多かったという状況になってございます。</p>
野崎会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
松尾委員	<p>天沼中学校の松尾と申します。</p> <p>3年ごとの基礎調査ということで頂いておりますので、調査数に対する年齢別の回答は3年前とさほど変わっていないという状況ですか。</p>
健康推進課長	<p>基本的にこちらのほうも人口推計、年齢ごとに配布している枚数というのも分けておりますので、基本的に3年でそんなに大幅に変わるということはありません。</p>
松尾委員	<p>回答の割合ですね。女性の70代以上の方がおよそ19%、ほかの年代の方々はおよそ5%から10%の間で推移をしているというのも、3年前とほぼ変わらない回答の割合。であれば、基礎調査としてのいわゆる根拠としては使えるかなということはあるかなというところのご質問でした。</p> <p>特に全体の傾向を見るということであれば、基礎調査としては3年ごとに実施をされているというところでちょっと数値を拝見させていた</p>

	だいて。基礎調査ということで頂いておりました。ありがとうございます。
野崎会長	ありがとうございます。 いかがでしょうか。ほかにございませんか。 細かいことがたくさん出ていて、これは事前に委員の方々にお送りしているんですね。
健康推進課長	はい。
野崎会長	御覧になっていると思いますけれども、ご自分のご興味のあるところを御覧になって、何でもよろしいですから、ご質問なりご意見ありましたらお願いいたします。
鈴木委員	全般的なことをご質問はできないので、個別のことをご質問させていただきます。問3の食生活に関する朝食の件ですけれども、「ほとんど食べない」という方が回答者の中の10人に1人ぐらいいらっしゃるんですね。この年代別みたいなものは分かりますか。
健康推進課長	今そういった内容のものを、先ほどちょっとお示ししましたが、こういう冊子にして、これは年代ですとか、過去とどう変わっているんだとか。例えば朝食をとっていない人の健康で、いい、悪いということはどういうふうに答えているのかということも含めて、分析を進めている最中でございます。本当はその内容を含めて今日ここでこの冊子をご説明できればよかったんですが、すみません、ちょっと間に合わなかったものですから、速報版ということで単純集計をご説明させていただいたという状況でございます。
野崎会長	よろしいですか。
鈴木委員	はい。
野崎会長	ほかにいかがでしょうか。
武田委員	杉並区集団給食研究会の武田と申します。 調査対象数が3,000人いて、有効回収数が1,296人でちょっと下がったというふうに伺ったんですが、これは、100%を目指しているのか、この程度でよろしいとお考えなのか。こちらはいかがでしょうか。
健康推進課長	調査ですからなるべく多くの方に回答いただきたいというのが私どもの考え方でございます。ここの資料にも記載してありますとおり、調査を実施した後に、(5)「調査の方法等」のところには郵送配布、郵送回収またはインターネット回答(札状兼回答依頼のはがき1回)を送っているというのは、送付してしばらくたってから、忘れていないかなということも含めて回答を促している状況です。ですので、多くの方に一応お願いはしたいんですが、これ2回、3回やったところでなかなかうまくいかないということもございます。 最初にご説明したときに、平成23年から同様の項目で調査をしていますよということをご説明したかと思うんですが、実は前回、令和2年は51.6%。これは半数以上ご回答いただいたということは、逆に非常に高かったんですね。大体おおむね40%台ぐらいの回答率だったという状況がございまして、前回、令和2年に実施したときは9月なんですけど、この時期ちょうどコロナでいろいろ外出制限とかかかっているときだったと記憶しているのですが、そういった関係もあり、少し回答率が良かったのかなということも考えているところです。
野崎会長	ありがとうございます。

	ほかにいかがでしょうか。
芝山委員	<p>芝山と申します。</p> <p>基本的なところなんですけれども、調査対象数、男1,393、女1,507。2,900人という形になるんですが、100人は私の勘違いかな。大事な調査だというところで、母数の人数が違うんだけど、大丈夫でしょうかというのが質問です。</p> <p>以上です。</p>
健康推進課長	<p>違いますね。これ足すと2,900になってしまいますね。ただ、3,000人に送っているというのは間違いございません。ちょっと確認をさせていただきます。後ほど分かり次第報告させていただきます。大変失礼いたしました。</p>
野崎会長	はい、どうぞ。
鈴木委員	<p>先ほど所属と姓名を申し上げませんでしたでしたが、健康づくりリーダーの会の鈴木と申します。よろしくお願ひします。</p> <p>全般的に項目で「ロコモティブシンドロームを知っていますか」とか、「減塩を心がけていますか」とか、あと「定期健診を受けていますか」とか、「睡眠がとれていますか」とか、「継続的に運動していますか」とか、定期健診についてはがんもそうなんですけれども、こういったところは非常に周知をしている割にはかなり低かったり高かったりするケースが散見されるような気がするんですね。多分今年なんかは結構そういうことについて強力に周知徹底、啓蒙を図っておられると思うんですけれども、そこら辺は今後どういうふうにされていくのか。</p> <p>もちろん、推進条例に基づいた目標ではそれなりのものがうたってあるんですけれども、それを具体的に進めていくという具体策については、今度この全体像を分析されたときにご提示いただけるのかどうか、ちょっとお話を聞かせていただきたいんですけれども。</p>
健康推進課長	<p>例えば生活習慣病予防とかに関わる部分については、あくまでこういった調査は結果しかないものですから、これをどういうふうに生かしていくのかというのは今後の施策というところになるかと思ひます。やはり生活習慣病に関しては重症化をしていかないための方策が一番なんだということもありますし、健診に関連しては受診率を上げていくことが前提になってくるのかなと思ひます。</p> <p>こういったあくまでも多くの方を対象に調査した結果こうなっているというところがありますが、例えば健診をした結果、ハイリスクの方に対してどういうふうアプローチしていけばいいのかという視点もあるかと思ひます。広く調査したもの、また個別に対応した内容も含めて施策のほうに生かしていきたいと思っておりますが、基本的にそういった施策についてはこの「健康医療計画」の中にまとめさせていただきながら、個別の事業の中でさらに対象者なんかを絞りながら進めていきたいと思っております。</p>
鈴木委員	<p>健診のデータでもそうなんですけれども、その結果、各疾病にかかっていないという率を見ますと、糖尿病のことだとかそういうのは70～80%ぐらいかかっていない、診断されていないという方が結構多くいらっしゃるんですね。</p> <p>けれども、やっぱり高血圧とか高脂血症というか、どちらかという生活にちょっと気を抜くとなってしまうようなものだとか、運動を減らしてしまったり、もしくは食生活に気をつけなかったりすると、もろち</p>

	<p>ん糖尿病もそうなんですけれども、糖尿病はかなり、国もそうですし、杉並区もそうでしょうけれども、そういうものを全面的に打ち出しているの、比較的啓蒙されているんじゃないかなと思うんですね。そこへいくと、ほかの疾患の中で目立つのが、たしか60%台だったのが高血圧と高脂血症だけだったと思うんですね。</p> <p>そこら辺のこともぜひ今後の政策の中に加味していただけるとありがたいなと思います。</p>
健康推進課長	<p>ありがとうございます。そういった部分も含めて、例えば食に関することだとか、塩分過多の問題とかいうこともあります。そういったものも含めて、運動以外の部分に関してもいろいろな事業のほうに取り入れられたらなということで考えてございます。どうもご意見ありがとうございます。</p>
杉並保健所長	<p>1ついいですか。</p> <p>貴重なご意見、どうもありがとうございます。今まで杉並区のほうもいろいろな啓発施策を行って健康づくりを推進してきたところではあるんですけども、やはり委員おっしゃるとおり、そういった啓発がなかなか届きにくい層というのがあるんだと思うんですね。だから、そういった層にどうやって働きかけをしていくのかということと、健康づくりを一生懸命、一生懸命やるということよりも、日々、ささいなことでもいいので継続してやっていくことによって健康になりますということと、あともう1つは、ご本人がそれほど意識しなくても自然に健康になれるような環境をつくっていくとか、そういったところも課題なのかなというふうに思っています。</p> <p>そういったところの中で、保健所として何ができるのか、何をやっていけばより効果的な政策になるのかということに関して保健所としてもいろいろと考えていきたいと思っておりますし、そういったところに関してぜひ委員の方からもこういうふうにやると効率的じゃないですかとか、何かアイデアがあればぜひご意見を頂ければありがたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
野崎会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>どうぞ。</p>
健康推進課長	<p>先ほどの調査対象の人数ですが、大変失礼いたしました。男性が1,393、女性が1,607人というような状況になってございます。大変失礼いたしました。</p>
野崎会長	<p>よろしいですか、芝山委員。</p>
芝山委員	<p>はい。</p>
野崎会長	<p>ほかに何かございますか。</p> <p>よろしければ、先へ進みたいと思います。</p> <p>資料3が差し替えになっておりますけれども、「杉並区健康づくり推進条例の規定に基づく目標及び指標（令和5年度更新値）」に関して、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
健康推進課長	<p>こちらのほうも私から報告申し上げます。席上に配付した資料を御覧ください。</p> <p>健康づくり推進条例では、健康づくりを推進するために達成すべき目標及び指標を設定して、取組を推進しているところでございます。条例では身体の健康、心の健康、歯と口腔の健康と健康づくりを支える社会環境といった、各分野で目標、指標を定めるという規定になってござい</p>

ます。現在の目標及び指標と令和12年度の目標値については、令和3年度の杉並区健康づくり推進協議会において、委員の方々の意見ですとか評価を行っていただいていたものでございます。本日は幾つか取り上げてご説明をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

まず、全体の目標として、「健康寿命の延伸」として65歳健康寿命としているものでございます。これは、65歳の方が要介護認定2を受けるまでの期間を健康な状態として、なるべく時間を長くしていただきましょうというものでございます。最新値は男性が83.7歳、女性が86.8歳となっており、前回値より男女とも0.1歳ほど下がっているところなんです、目標設定時の値とおおむね変化がないという状況にあります。

ただ、東京都全体では男性が82.9歳、女性が86歳ということで、23区でも比較すると0.8歳高い状況にありまして、杉並区は男女ともに23区では上位となっております。

次に分野1-1「身体の健康 生活習慣病の予防」では、「がん」、「メタボリックシンドローム」、「糖尿病」の発症予防や重症化予防、「COPD」などの普及啓発を推進する指標としてでございます。目標を「がんによる死亡を減らす」。がんの75歳未満年齢調整死亡率、これは人口対10万人の数字ということになりますが、この数字につきましては、年齢構成の異なる地域間でがんによる75歳未満の死亡状況が比較できるということで、全国的に用いている指標となっております。年齢構成を調整した死亡率ということになりますと、人口10万当たり死亡数を示した数字をこちらのほうに記載させていただいております。

最新値、男性が72.9。これは10万人に対する人（にん）ということになります。女性が51.7となっており、ともに前回値より改善傾向にあり、目標に向けてがんの早期発見、がんの早期治療といった取組を推進してまいりたいと考えているところでございます。

裏面の2ページ目を御覧ください。

がん検診受診率はそれぞれがん検診ごとに出しておりますが、こちらの数値の出典は、先ほど報告しました杉並区生活習慣行動調査の結果を最新値に反映しているものでございます。資料2のA3の7ページのところちょっと記載させていただいているんですが、そこに問44がございまして、「あなたは、定期的に次のがん検診を受けていますか」という調査となっております。

よく見ると数字が異なっているんですが、こちらの数値は、目標値の部分については40歳から69歳、子宮頸がんについては20歳から69歳における抽出を行った上で、今回のこっこの指標の最新値のほうはまとめているのですが、単純集計のほうについては全世代、20歳から80歳の方も含んでいるという数値となっておりますので、異なっているという状況になっています。

なお、前回数値よりも改善傾向に全般的にありまして、引き続き目標値に向けて取組を推進してまいりたいと考えてございます。

次に、目標「メタボリックシンドロームの該当者を減らす」、目標「糖尿病の重症化を予防する」、目標「COPDについて知っている人を増やす」については、目標に向けてさらなる取組が必要なものや、前回値とおおむね変化が見られないような状況となっております。

次に3ページ目、分野1-2「身体の健康 健康的な生活習慣の獲得」

として、食習慣、運動、適正な飲酒、禁煙等の生活習慣を獲得するための目標としてございます。

目標の「適正な質と量の食事をとる人を増やす」では、主食・主菜・副菜をそろえて食べる者の割合の最新値が48.1%。また、朝食の欠食率が全ての年代で最新値が悪化の傾向にあるという状況でございます。こちらは結果を示していることにはなりますが、目標からは少し離れてしまっているのかなという状況になっております。

4ページを御覧ください。

下の目標「身体活動・運動を増やす」においては、日常生活における歩数、1日当たり7,000歩以上歩く方は5.6ポイントから11.5ポイントと上昇しております。特に20歳から64歳の女性ですとか65歳以上の男性において大きく増えているというのが見られます。これは、区民の方がふだんから気軽に体を動かすことですとか、例えば自身が主体的に身近な健康づくりを行っているのではないかというふうに、こちらのほうとしては考えてございます。

5ページ目、目標「生活習慣病のリスクを高める飲酒をする人を減らす」では、生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている者の割合は男女ともに減少傾向にあり、未成年者の飲酒経験の割合についても、高校2年生を除き減少傾向にあるというところが見てとれるかと思えます。

ちょっとこれは記載はされておきませんが、未成年者の飲酒経験の割合については高校2年生を除いて減少傾向にありますとご説明したかと思うんですけど、実はこれも杉並区のほうで今年調査を行っているのですが、未成年者の飲酒のきっかけというのが「親、兄弟の影響」ということと、「興味があったから」と回答された方が多かったということで認識しています。多くは、周りに勧められるケースもちょっとあるのかなということが見てとれました。未成年者の喫煙については、友人ですとか仲間に誘われて行うということが多く見られたということでございます。

次に分野2「心の健康」では、うつ病などストレスが影響する心の病を予防するため、正しい知識の普及や、身近な人や専門機関への早期の相談を促すことに取り組を進めてございますが、目標の「睡眠に障害を感じている人を減らす」では、睡眠が十分にとれていない者の割合が増えてございます。

6ページにありますように、ストレスを感じて相談した人の割合は約7割となっておりますので、増えていたとしても、ちゃんと相談されている方は変わらず7割ぐらいいらっしゃるのかなというふうに考えてございます。

目標の「自殺者数を減らす」では、先ほど協議させていただきましたゲートキーパー養成者数の累計の目標値3,350を今後3,450とさせていただきます。

次に分野3「歯と口腔の健康」では、全ての区民が歯と口腔の健康を保ち、健康寿命を延ばしていくことを進めていく指標としてでございます。目標「むし歯のない人を増やす」では、3歳のむし歯のない者の割合は最新値で96.8%となっております。順調に進んでいることと思えます。また、12歳児の永久歯一人平均むし歯数も減少しているということで、こちらのほうも順調に推移してございます。

目標「進行した歯周病がある人を減らす」では、40歳重度歯周疾患

	<p>有病者率が最新値では50.7%となっておりますので、いわゆる健診結果などから成人期における歯周病予防など、適切な情報提供を実施しながら重症化予防を図ってまいりたいというふうに考えてございます。</p> <p>7ページ目を御覧ください。</p> <p>分野4「健康づくりを支える社会環境」では、健康な生活ができる環境を整備していくとともに、健康づくり活動を主体的に行う区民、関係団体、企業が増えて、地域の健康水準を上げていくことを指標としてございます。</p> <p>目標「健康な生活ができる環境を整える」においては、健康づくり応援店は最新値で394店と、微減している状況でございます。この間コロナ禍で、飲食店の営業にはかなりの負担がかかっていたということもございます。新たなお店においてヘルシーメニュー等に取り組む余裕がなかなかなかったという状況もございまして、今後は顧客のヘルシー志向なども重要であるということもPRしながら、登録店を増やしていきたいと考えてございます。</p> <p>目標「地域のつながりを醸成する」の2段目の社会活動に参加した者の割合ですが、こちらの指標設定時の値、令和2年度61%となっております。毎年杉並区において区民意向調査というものを違う部門のほうで実施しているんですが、令和4年度から設問が変更されてしまいました。設定時の令和2年度の調査では「あなたが取り組んでいる趣味や習いごと、社会活動はありますか」というような問いから、「あなたが参加している地域活動・社会活動はありますか」という問いに変わりました。趣旨を考えると答える立場としては相当変わってくるのかなと。</p> <p>そうしましたところ、一応回答の選択肢の欄には趣味とかいうものも記載されてはあったんですが、設問の趣旨が変わってしまったこともあり大幅に下がったというふうに認識してございます。</p> <p>最後に、目標「高齢者の社会参加を増やす」では、65歳以上の高齢者でいきがいをしている人の割合は75.3%となっております、前回よりも9.1ポイントほど増えてきてございます。9.1ポイント増えているのは、ごめんなさい、地域活動・ボランティア活動・働いている高齢者の割合として47%となっておりますので、アクティブに活動されている高齢者の方が増えているのかなというふうに考えてございます。</p> <p>雑駁ではございますが、私からの説明は以上となります。</p>
野崎会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまのご説明につきまして、ご発言ございましたらお願いいたします。</p> <p>どうぞ。</p>
芝山委員	<p>1ページの「健康寿命の延伸」というところで、杉並区では前回値に比べて少し悪くなったよということなんですけれども、先ほど東京都では男性82.9、女性86という数値もありました。全国的にコロナもあったりして、全国あるいは東京都も減っているのかなと思うんですけれども、その点についていかがでしょうか。</p>
健康推進課長	<p>「数値の出典」というところを見ていただきますと分かるんですが、実はこの集計の方法というのが東京保健所長会が発表している数値を用いているという状況になっています。全国的ないわゆる65歳健康寿命というところとは違う指標になっているものですから、同じ指標で</p>

	<p>よっとはかれないということがございます。</p> <p>ただ、東京というのは全国的に見ても健康寿命は比較的高いというところで、実は、先ほど上位にありますよという話をさせていただいたんですが、令和3年の状況だけ見ますと、23区で杉並区は男性も女性も一番上になっています。実は令和2年、前回値というところは、令和3年の今回の最新値よりも高い状況になっているんですが1位ではないという状況もあるのです。多少の動きはあるんですが、杉並区としますと常に上位のほうにあって健康寿命は高い。皆さん、要は意識されている方が多いのかなということが見てとれるかなと考えてございます。</p>
芝山委員	<p>補足しますと、新聞等の情報だと全国1位は神奈川県川崎市の麻生区というふうな情報も出ていたので、全く情報がないとは思ってはいないんですけども、趣旨は理解いたしました。ありがとうございます。</p>
野崎会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。特によろしいですか。</p> <p>それでは、次の報告事項(3)ですが、「令和5年度杉並区健康づくり表彰の結果について」、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
健康推進課長	<p>資料4を御覧ください。</p> <p>杉並区では毎年、地域で健康づくり活動を積極的に行っている事業者や団体ですとか、従業員に対する健康づくりの取組を積極的に実施されている事業者などを募集しまして、区民の健康づくりの関心や理解の増進を図ることを目的に、この表彰を実施させていただいているものでございます。</p> <p>本年は6月1日から7月31日までの2か月間で、団体ですとか事業者の募集を「広報すぎなみ」ですとか公式ホームページ、またチラシなども作成して募集いたしました。10月23日、月曜日になりますが、表彰式を実施させていただきましたので、そのご報告となっております。</p> <p>応募者数は事業所1件、団体3件、計4件あったという状況でございました。表彰団体の中には、1団体に関しましては、以前にも同様の取組を行っている団体からの応募があったものですから、今回その団体については対象としなかったという状況でございます。</p> <p>表彰区分は、優秀賞の中で最も高い評価を得た取組を実施している事業者及び団体を最優秀賞として、杉並区いきいきクラブ連合会井荻万寿美会が受賞しました。この団体は昭和33年8月から、西荻北四丁目及び善福寺一丁目、二丁目の地域を基礎とする高齢者の自主的な組織として発足されました。善福寺公園を主な活動場所として、グラウンドゴルフですとか輪投げ、健康ウォーキングといった活動を、より楽しめる工夫を行いながら実施しているという団体でございます。また、同じく善福寺公園では花壇のお手入れですとか公園清掃というボランティア活動も行っており、善福寺公園の美化にも取り組んでいる団体として最優秀賞に選ばれました。</p> <p>次に、事業所部門優秀賞は、株式会社ハートコントラクトが受賞しました。この事業者では、職場全体の活性化には従業員が心身ともに健やかになることが必要との考えから、従業員に対して毎日5,000歩以上歩くことを目標に掲げているということでした。そして、成績上位者を全員で称賛することでやる気が継続し、目標の倍以上歩いているという従業員の方もいらっしゃるということでした。</p> <p>また、この会社は外部の専門家をお呼びして健康関連セミナーを実施</p>

	<p>するとか、日常に取り入れられる知識の習得などにも努めるほか、年に数回、健康に配慮されたお弁当を従業員に配布するなど、従業員の健康づくりにもつながる活動をされているということで、事業所部門優秀賞にさせていただいております。</p> <p>次に、団体部門優秀賞は西荻ポールウォークが受賞しました。こちらの団体は令和4年3月にNPO法人杉並さわやかウォーキングのボランティアの方の指導を受けながら、会員3名から発足したということで現在活動中でございます。継続した活動をするためには楽しさが第1という考えの下、会の運営を工夫して特定の人に負担が集中しないように、助け合いながら楽しく活動されています。現在は口コミで参加者が20名弱まで増えていきますよということで、ご報告がありました。</p> <p>私のほうからのご説明は以上となります。</p>
野崎会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの表彰事業のご説明ですが、何かご質問ございますか。</p> <p>この事業所部門の会社というのは、何の職種の会社ですか。</p>
健康推進課長	<p>こちらの会社は、建築系というんですかね、リフォームの会社です。</p>
野崎会長	<p>団体のほうは、これは団体の名称なんですね。</p>
健康推進課長	<p>はい。どこも法人格を有しているわけではないので、任意団体として自分たちでつけていただいている名称かと思います。</p>
野崎会長	<p>「メロンカフェ」と、おもしろい名前つけていますね。</p> <p>何かご質問、ご意見ございますか。</p> <p>では、ありがとうございました。</p> <p>それでは、報告事項につきましては3つ終わりましたので、全体を通して、せっかくの機会でございますので、皆様方からご意見なりご質問がありましたらお願いをいたします。</p> <p>皆さんがされる前に、今コロナがまだ続いてはやっている、インフルエンザが非常にはやっているという報道がありますけれども、それについて杉並区の状況はどうなのか、ご説明いただけたらありがたいと思います。</p>
保健予防課長	<p>保健予防課長の中坪と申します。</p> <p>今、会長さんおっしゃられたように、コロナは11月中旬ぐらいに一旦落ち着いたんですけれども、今、3週連続平均値でまたちょっと増加に転じていて、東京都全体では、定点当たりですけれども、2.31というところで、杉並区も同じような傾向にあるという状況です。</p> <p>今言われたように、やっぱりコロナに比べるとインフルエンザのほうが患者さんの数が多くて、同じ最新の週でいうと東京全体だと15.08ということですので、インフルエンザがコロナの5倍以上になって、発熱患者さんのうちでコロナよりもインフルエンザのほうが圧倒的に数が多いというような現状になっています。</p> <p>5月8日以降、両方とも5類疾患ということになっている状況ですので、コロナにだけ注意とか、インフルエンザにだけ注意とかというのは実際はできないところかと思うんですけれども、対策としては全く同じです。</p> <p>現時点でインフルエンザは定期予防接種の対象になっている中で、コロナについては今年度までは特例臨時接種ということで、今は、1回だけですけれども、対象者の方は全員無料で打てる期間です。これも実は来年3月31日で特例臨時接種、無料で打てる期間は終了することも</p>

	<p>う発表されていて、決まっています。なので、皆様方をお願いしたいのは、できれば現在、今年の9月20日から来年の3月31日までの間に、6か月以上の方について1回は必ず無料で打てますので、打っていただければなというふうな思いがあります。</p> <p>逆に裏を返しますと、来年4月以降は医療機関とそれぞれの方の間での任意接種という形になって、価格は自由価格という形になります。恐らく来年の秋以降は高齢者のインフルエンザと同じ形の定期予防接種になるので、無料ではなく、自己負担が発生する形での定期予防接種という形になります。今のインフルエンザよりは高くなることを見込まれます。今、高齢者だと、区内だと2,500円の自己負担で打てますが、2,500円より安くなることはまず考えられませんので、それ以上の価格で打っていただくという形になると思っております。</p> <p>繰り返しになりますが、いずれにしてもコロナの予防接種を無料で打てるのは今年度、来年の3月31日までですので、重症化予防という目的ですけれども、打っていない方はできるだけ打っていただくことを期待しているところでございます。</p> <p>私からは以上です。</p>
野崎会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>稲葉先生、医療機関では今のコロナ、インフルエンザはどうなんでしょうか。</p>
稲葉委員	<p>杉並区医師会の稲葉です。</p> <p>現在のところ、今、中坪課長からもお話があったように、コロナのピーク1回下がったかなと思ったんですが、また徐々に徐々に増えてはおります。あとインフルエンザは今年の8月ぐらいからだらだらと流行が続いているような状況です。</p> <p>今多いのはインフルエンザですので、インフルエンザについてなんですけど、実際のところ感染していらっしゃる患者様の状況としては、コロナ陽性の方に比べればインフルエンザの方たちのほうがとても熱が高い方が多くて、39度とか40度とかの熱の方もいるし、症状もせき、鼻水など、かなり強い方が多いです。ただ、タミフルですとか、リレンザですとか、イナビルですとか、いわゆる抗インフルエンザ薬というものがありますし、保険で利用できますし、比較のお値段も高くないので、そのようなお薬で治療されることによって割と速やかに症状が、それでも数日かかりますが、1週間後には結構元気になっている方が多いですね。</p> <p>インフルエンザの話、もう1個いいですか。A型が2系統ではやっていますので、9月、10月の前半ぐらいにかかった方が今またA型かかっています。子どもさんも大人もかかっています。なので、ある程度症状が落ち着いたところで予防接種を検討していただくとよろしいかなと思います。</p> <p>コロナについてですけれども、予防接種を受けている方が多いということもあるんですが、あと、1回、2回罹患した方でまたかかっている方たちは比較的発熱も大したことがなくコロナということがあります。</p> <p>何で受診されたかという、やっぱり体のだるさとか、つらさとかいうものが、普通にちょっと風邪引いたなというよりは結構つらいようなので、それで気になって受診しましたと言って、7度6分ですとか、下手すると7度5分ないような状態でもコロナ陽性という方がいます。そういう方たちが意外と3週間、4週間、せきとかたんがずっと切れな</p>

	<p>とか、何となくだるいとか、そういう症状がだらだらと続いている方が多いというのが、今、医療の外来で診ていますとあります。</p> <p>なかなか受診しない方も多いと思いますので、コロナの実数というのは実は把握できていなくて、もっと多いのかなという印象は持っているんですが、やはり本当に体調に問題があるなどご自身で思われたときには、ちゅうちょなく医療機関を受診していただくということと、適切なアドバイスとか対応を受けていただくことによって、皆様の大丈夫かなという不安だったりも多少でも解消されれば、生活に支障がないように医療機関としてもアドバイスできるかなと思っておりますので、そういうような状況になられた方ご自身でも、周りの方でもいらっしゃいましたら、受診をお勧めいただけたらと思います。</p>
野崎会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>薬剤師会、薬局のほうで、今のことに関連してご発言があればお願いします。</p>
中村委員	<p>今、稲葉先生のほうからありました感染症、本当に薬局にも多くの患者さんが見えられているんですが、実際のところ皆さんニュース等でいろいろと耳にしているとは思いますが、医薬品が本当になくて困っております。せき止めは本当に毎日綱渡り状態で、この薬が100錠2つ入ったら、もう午前中でなくなってしまいます。そして午後からどうしようかと言っているいろいろと問屋さんに電話を入れて、個別にお願いして何とか持ってきていただいている。その手のことを何十種類と毎日やっていかないと、普通に注文して翌日とか午後入ってくるというのが本当に難しい状況になっています。いわゆる問屋さんの支店長の方なんかともお話しする機会があって、この状況がいつまで続くのというふうな話をしたところ、当面はちょっと難しいだろうということでした。</p> <p>何しろせき止めというのは昔からあるお薬なので、1錠当たりの値段が5円70銭とか、そういうお薬なものですから、メーカーもつくればつくるほど赤字が出てしまうというふうな形で、量産をするのも多分ほかのメーカーさんも見ながらという感じでやっているの、いきなり倍に増えるとか、そういったようなことは多分ないんじゃないかというふうなことなので、お医者様のほうに行かれて処方せんを出していただいても、薬局を4～5件結局回ってこられたという患者さんがうちにも随分おいでになっています。それであってよかったというふうな感じですので、本当に区民の皆様方にはいろいろとご迷惑をおかけしたり、あと医療機関である医師会の先生方にもご協力いただいて、結局薬を変えていただくための疑義照会というのをしなければいけないので、1人の患者さんに対する対応に現場は非常に時間がかかっております。</p> <p>そういうことで皆さん、今はまだまだ、多分来年も引き続きだと思えますので、ご協力のほどよろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございました。</p>
稲葉委員	<p>せっかく皆さんおいでになっているので、もう一言追加させていただきます。</p> <p>中村先生のお話のように、医療用医薬品の流通は本当に困っていて、「せきを止めてほしいから、せき止めが欲しい」と言っている方が多いんですけども、どこの薬局にせき止めがあるかというのを近隣には伺っているんですけど、やっぱり3人とか4人の方に出したらもう次の方に薬がないという状況になっているのが現実なんです。私たちもその方の状態を診て、余分には薬を出さないというふうには</p>

	<p>心がけていますので、「念のために薬を下さい」とか「お正月のために薬を日数長く下さい」と言ってもお応えできないことがものすごく多いんです。</p> <p>保健所の中で休日診療所を杉並区医師会で運営させていただいているんですが、そこも綱渡りです。本当に具合が悪くて、夜眠れないほどのせきの方に行く薬を1人でも多くの方に分けられるようにと思ってやっておりますので、ご協力していただきたいと思っています。</p> <p>あと、持病のない方とか、特に薬のアレルギーとか、そういうものがない方に関しましては、いわゆる市販の感冒のお薬にきちんとせき止めの成分が入っているものが多数ございます。そちらのほうは比較的流通が安定しているようですので、調剤薬局の先生方にご相談いただいて、市販薬で対応することも可能かと思います。その辺も皆様にご検討、ご協力をよろしく願いしたいと思っております。すみません、よろしくお願いたします。</p>
野崎会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。せっかくの機会でございますので、全体を通してご発言があればお願いたします。特にございませんか。</p> <p>それでは、以上で本日の議事は全て終了いたしましたので、閉会といたしたいと存じます。お忙しいところをお集まりいただいて、ありがとうございました。</p>